



進学と就職を考える③ 専門学校進学を選択する意味

2号続けて進学と就職について考えてきました。
今回は専門学校進学を選択する意味について考えます。



専門学校進学のポイントははっきりしています。

「専門職に就くための資格・技能を身につけることができる」「業界内の就職に強い」、この二つがストロングポイントです。

一方懸念される点としては「その業界・業種につかなかった場合、進学した意味があまりない」ところが挙げられます。なお、学費は短大並み。

また、専門学校への進学を希望する場合、公的な認可を受けていることを確認しましょう。無認可校は卒業しても学歴に入りません（履歴書に記載できません）し、公共交通機関などの学割も使えません。

進学と就職を考える④ まとめ

3号に渡って進学と就職について考えてきました。改めてポイントを確認します。

- ・高卒からの就職は18～22歳段階で収入を得るためにするもの（早期の経済的自立）。
- ・大学への進学は、4年間で投資した資金を5～10倍にして、但し40年かけて回収する。生涯賃金は高くなる（高卒と比べて5～6000万円高い）。
- ・一方、学費や通学に伴う費用などに4年間で500～1000万円程度かかる。
- ・専門学校への進学は専門職に就くためのもの。認可校を選ぶ。
- ・いずれにしても、担任や進路指導の先生方とよく相談する。

6月の三者面談では、「4年制大学（短期大学）進学」「専門学校進学」「学校斡旋就職」「縁故就職」「自営後継」「公務員受験」のいずれを選ぶかを確認します。
就職希望者はある程度受験先まで絞り込みたいところです。

今の内から保護者の方とよく相談を。家庭学習がまだ定着していない人は今すぐ始めよう。

